

令和6年度

広島学院中学校入学試験問題

算 数

【 60 分 】

◎試験開始まで、問題用紙にも解答用紙にも手をふれてはいけません。

次の注意を読みなさい。

注 意

1. 問題用紙

この問題用紙は2ページから7ページまでで、問題は5問あります。

2. 解答用紙

解答用紙は別の用紙1枚で、この問題用紙にはさんであります。

3. 記入・質問などの注意

(1) 答えはすべて解答用紙のわくの中に、ていねいな字で記入しなさい。

ただし、割り切れない数のときは、できるだけ簡単な分数で答えなさい。

また、(計算)と書いてあるところはその答えだけでなく、途中<sup>とちゅう</sup>の式・計算も書きなさい。

(2) 問題用紙のあいたところは、解答の下書きに使ってもかまいません。

(3) 印刷が悪くて字のはっきりしないところなどがあれば、手をあげて監督<sup>かんとく</sup>の先生に知らせなさい。

[1] 次の  に当てはまる数を答えなさい。

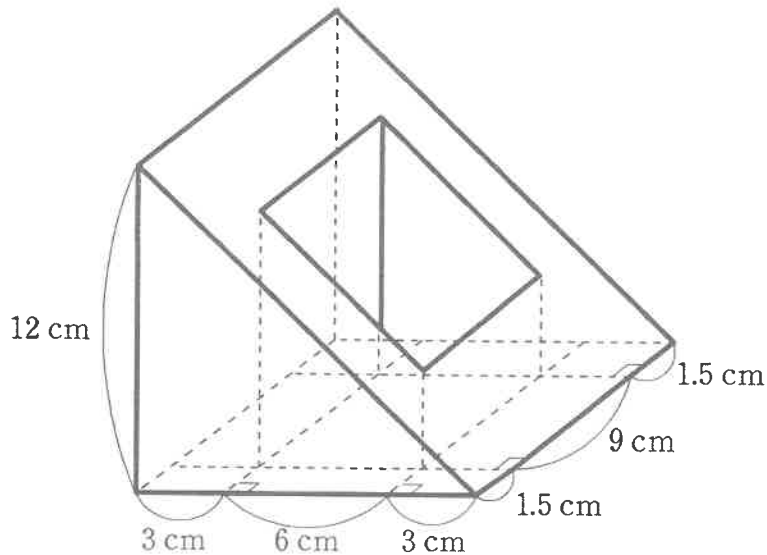
(1)  $\frac{5}{11} \times \left(1\frac{2}{3} - 0.64\right) + \frac{3}{25} \div 0.45 =$

(2) 何人かの子どもに鉛筆<sup>えんぴつ</sup>を配ります。1人3本ずつ配ると120本余り、1人5本ずつ配ると32本足りません。子どもの人数は  人です。

(3) 太さが一定の金属の棒が売られています。長さ14 cmの棒の重さは315 gです。また、重さ225 gの棒の値段は612円です。長さ40 cmの棒の値段は  円です。

(4) 図の立体は、1辺の長さが12 cmの立方体を半分にした立体の内側に、底面が長方形になるような穴を、底面に垂直にくり抜いたものです。図の立体の体積は

cm<sup>3</sup>です。



(5) 下の表は、A県とB県の県民の年齢構成をまとめたものです。2つの県の65才以上の人口は同じですが、16才から64才の人口はA県の方が232500人多いです。

A県の人口は  人です。

	0才から15才	16才から64才	65才以上	計
A県	15%	60%	25%	100%
B県	12%	53%	35%	100%

(6) 下の表は、ある整数の約数を左から小さい順に並べ、約数の一部を空らんにしたものです。6と29の間の4つの空らんに入る数は小さい順に

です。

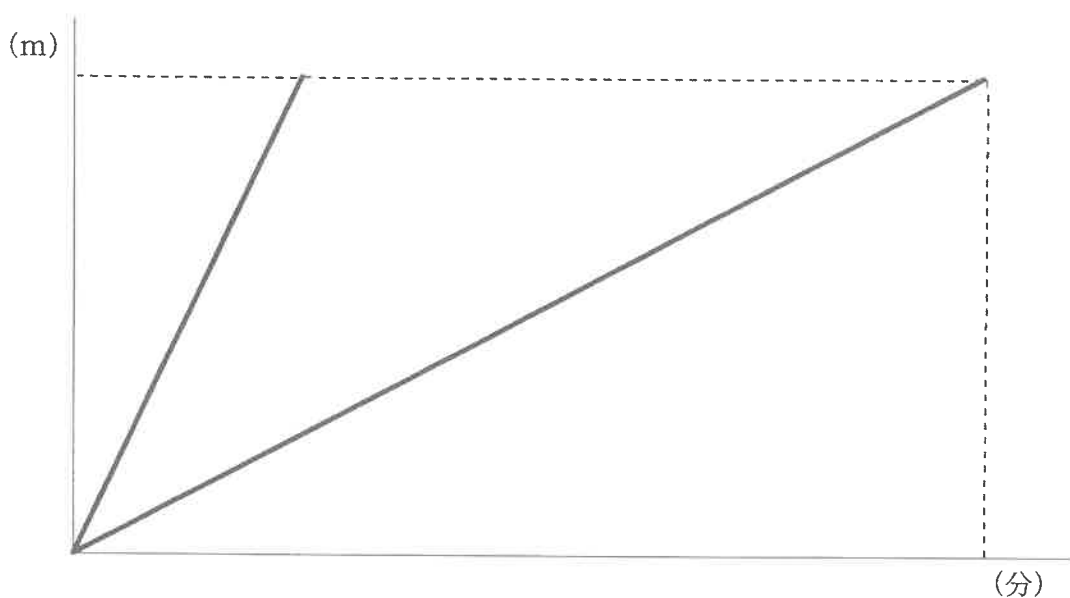
1				6					29	33	41	...	<input type="text"/>
---	--	--	--	---	--	--	--	--	----	----	----	-----	----------------------

[2] 並盛りが1杯<sup>ばい</sup>600円で、大盛りが1杯<sup>ぎゅうどん</sup>850円の牛丼屋があります。並盛りには牛肉が100g、大盛りには牛肉が200g入っています。次の問いに答えなさい。

- (1) ある日、牛丼が180杯売れて、売り上げは130000円でした。並盛りは何杯売れましたか。
- (2) ある日、並盛りの売れた数が大盛りの3倍で、牛肉を45kg使いました。並盛りは何杯売れましたか。
- (3) ある日、売り上げが158000円で、牛肉を31kg使いました。並盛りは何杯売れましたか。

[3] 土曜日の朝、兄と弟の2人が同時に家を出発し店に向かいました。兄は走って毎分210 m の速さで進み、弟は歩いて毎分60 m の速さで進みました。兄は開店時刻より14分早く店に着き、弟は開店時刻より6分遅く店に着きました。下のグラフは2人が出発してからの時間と2人の進んだ距離を表したものです。次の問いに答えなさい。

- (1) 兄が店に着いたとき、弟は兄の後方何 m のところにいましたか。
- (2) 家から店までの距離は何 m ですか。
- (3) 日曜日の朝も、土曜日と同じ時刻に2人が同時に家を出発し、土曜日と同じ速さで店に向かいました。兄は途中で休憩のため止まり、弟が追いついたときから毎分90 m の速さで歩いて店に向かいました。兄は開店時刻ちょうどに店に着きました。兄が止まっていた時間は何分間ですか。



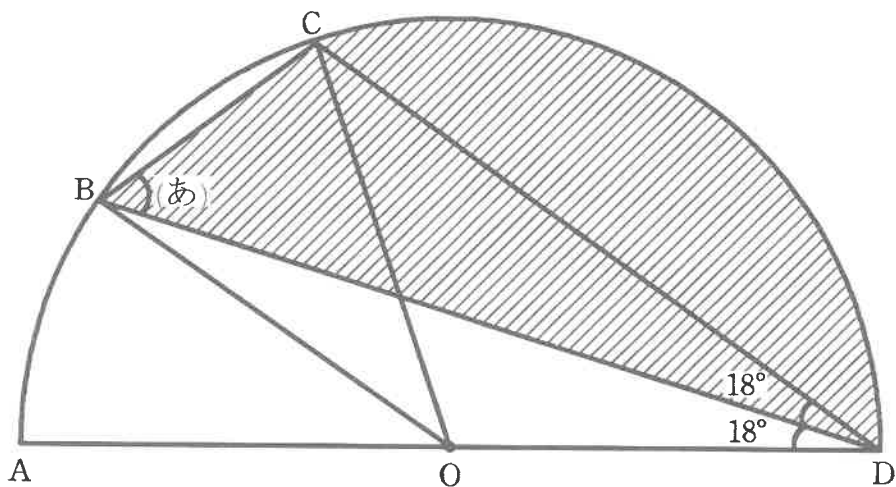
[4] 次の問いに答えなさい。ただし、円周率は3.14とします。

(1) 半径が5 cm の半円を、同じ形の5つのおうぎ形に分けました。1つのおうぎ形の面積は何  $\text{cm}^2$  ですか。

(2) 図のような中心がOで半径が5 cm の半円があります。

① (あ) の角の大きさは何度ですか。

② 斜線部分の面積は何  $\text{cm}^2$  ですか。



[5] 赤玉と白玉を，下のルール1～3に従って左から右へ並べて置いていきます。

ルール1 最初は赤玉を置く。

ルール2 白玉は2個以上連続して置くことはできない。

ルール3 赤玉は3個以上連続して置くことはできない。

次の問いに答えなさい。

- (1) 赤玉が白玉より9個多い並べ方のうち，玉の数の合計が最も少なくなるのは玉の数の合計が何個のときですか。
- (2) 7個の玉の並べ方は，全部で何通りありますか。
- (3) 赤玉9個と白玉7個を並べます。並べ方は全部で何通りありますか。

# 令和 6 年 度 算 数 解 答 用 紙

[1]

(1)		(2)		(3)	
(4)		(5)		(6)	

[2]

(1) (計算)	(2) (計算)	(3) (計算)			
答	杯	答	杯	答	杯

[3]

(1) (計算)	(2) (計算)	(3) (計算)			
答	m	答	m	答	分間

[4]

(1) (計算)	(2) ①	(2) ②(計算)	得点欄 (ここには何も記入しないこと)
	答	度	
答	$\text{cm}^2$		
	答	$\text{cm}^2$	

[5]

(1)	(3) (計算)
答	個
(2) (計算)	
答	通り
答	通り

	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	合計	

受 験 番 号			